



## 年 頭 挨拶

宮城県安全運転管理者事業主会連合会  
会 長 氏 家 照 彦

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族とともに穏やかな新春をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。また、平素、交通安全のために各方面において、ご尽力いただいております皆様に敬意を表するとともに、心から御礼申し上げます。

昨年は、前年に引き続き、世界規模で新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、世界の経済は、大きな打撃を受けました。国内においては、8月ころから全国で感染が拡大し、病院では、病床不足が深刻化し、消防機関による急病人の搬送にも大きな支障が出るなどしたため、一時、宮城県を含む21都道府県が緊急事態宣言の対処地域に指定され、国民生活に大きなダメージが出るなど、正に戦後最大の国難と言える状況でありました。これにより、飲食業界や旅行関係業界、対面によるサービス業などを中心に大打撃を受けました。また、製造業を中心に、世界的サプライチェーン・マネジメントの重要性が再認識されるなど、大変厳しく、そして大きな変化の年でもありました。そのような厳しい社会情勢の中で、関係機関と連携しながら各種活動を推進して頂いた会員事業所や各地区会の皆様に感謝申し上げます。

一方、開催の是非が問われた、東京オリンピック・パラリンピックにおいて、張本智和選手が卓球団体で銅メダルを獲得、パラバトミントンでは、鈴木亜弥子選手が銀と銅メダルを獲得するなど、本県ゆかりの選手の活躍により我々県民は、大きな自信と感動を覚える明るい話題もありました。

さて、昨年の交通事故情勢につきましては、全国的に事故発生件数、死者数及び負傷者数ともに、減少傾向が続いており、特に宮城県内では、安全運転管理者選任事業所における交通死亡事故が3名と大幅に減少していると伺っております。これは、各事業主及び安全運転管理者によるきめ細かな安全指導等の成果であり、改めて、その活動に敬意を表します。

ところで、事業主には、企業活動、事業活動を持続的に発展させ、その社会的使命を果たすとともに、社員や従業員の平穏な生活を守るとともに、安んじて業務に邁進出来る環境を整備するという極めて重要な責務が課せられてい

ます。

私ども安全運転管理者事業主会連合会は、各企業における安全運転管理業務の重要性を深く認識し、安全運転管理者の皆さんがしっかりとその役割と責任を果たすことが出来る環境を醸成し、職域、地域の交通安全が実現出来るように努力してまいり所存でありますことから、今後とも会員の皆様のご理解ご協力を賜りますように宜しくお願い致します。

結びに、コロナ禍が一日も早く収束し、新しい生活様式にも柔軟に対応することにより、会員事業所が益々発展しますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして新年の挨拶と致します。